

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2020. 9. 23***☆

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

心身も家計も健康だと自負している方へ

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 413 号***☆

<第 413 号の目次>

■ 今週のテーマ

心身も家計も健康だと自負している方へ

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

心身も家計も健康だと自負している方へ

*:**

今回は、
ご自身は、

心身それに家計も現在健康だ！

と自負している方に、

私のFP業務17年間の経験から、
僭越ながらお伝えいたします。

新型コロナウイルス流行は私には関係ない！？

世の中がどのようになろうとも、
新型コロナウイルスが流行しようとも、

ご自身が心身ともに健康で、
家計も、健康な状態が持続できれば、
それに越したことはありません。

ただ、ご自身がそのように思っている、
その裏付けがないと、
本当に、安心はできないと思うのです。

健康だと思っけていても

私の身近で、
心身も家計も健康だといわれる方の中には、

今の時期、屋外でマスクをして、
運動をすることは
なかなか難しいと思うのですが、

それでも、朝夕、欠かさず散歩をして健康だ！
とか、

家計も、
毎月、家計収支と貯蓄額を確認していて、
今のところ、
大きく収入が減ったり、支出が増えたりといった、
変化はない！
つまり家計も健康だ。

と言っている方もいます。

ただ、心身の健康面については、
私は専門家ではありませんので、
その方の言われたように、
現在、体調は良いのだと思うしかありません。

しかし、家計の方については、
私のところに相談にみえる方の中には、
家計収支で、
「大きな変化」はないといわれても、
「小さな変化」は、
起きているかもしれない、
または、起きている方もいるのです。

家庭の健康に思うこと

「小さな変化」から、
家計の健康が、
むしばまれ始めるかもしれません。

同じ黒字であっても、
その額が減少していることもあるのです。

例えば、毎月の家計収支が、
これまでは毎月 10 万円の黒字だったのが、
ことしに入ってから、8 万円に減った。

単純に、毎月 2 万円ずつ減っていけば、
1 年間で 24 万円、
家計に貯まる額が減ることになります。

この金額が、
大きいのか小さいのかは、
ご家庭の家計運営にもよります。

ただ、このままの状態が続くと、
10 年間で 240 万円
20 年間で 480 万円
と、家計収支は黒字でも貯蓄額は減ります。

住宅ローンなどの定期的な返済をしていれば、
その返済にまったく影響をあたえない数値では、
無くなるかもしれません。

さらに、黒字の額が減少していけば、
現在は、家計運営に支障はなくても、
この状況のままにしていると、
ジワリと家計運営に、
影響が出る懸念もあります。

将来、老後の生活費にも、
影響を及ぼすかもしれないのです。

なぜ黒字の幅が減っていくのか、
その原因を早期に調べて、

家計が、黒字のうちであれば、
さまざまな善後策を打つことが可能です。

もし、家計がこのような状況であれば、
黒字減少が慢性化しないうちに、
抜本的な対策を打ちましょう。

健康は保てるのか

健康な状態を保つためには、

心身の面では、
繰り返しになりますが、
私は専門家ではありませんので、
一般的に言われていることとして、

- ・定期的に運動をする
- ・暴飲暴食をしない
- ・早寝早起き規則正しい生活をする

といったところが基本でしょうか。

同じようなことは、
家計の健康のためにも言えます。

- ・常に節約に心がけ実行する
- ・無駄使いをしない
- ・収入に応じた支出にする
- ・定期的に一定の額貯蓄をする

という感じでしょうか。

とはいうものの、
健康を維持するために現在していることは、
将来に、役立つでしょうか？

家計収支で見れば、

収入の面では、
通常は、現役中の給与収入や事業収入より
老後の生活に入ってから年金収入は減ります。

しかし、支出は現役の時代と老後では、
食費は減っても、
余暇の出費は増えるといったように、
支出の項目は変わっても、
支出の額のトータルは、
あまり変わらないといわれています。

また、歳を取るとともに、
医療費や介護の費用は増加する傾向にあります。

家計支出は、増える傾向にあるということです。

つまり、生涯健康を保つには、
現役中から、
将来の体力を維持できるように、

老後の家計収支を想定して、
今から家計の準備をしておく
ということです。

手遅れにならないために

知らず知らずのうちに、
病魔に侵されないためには、
定期的に健康診断を受けること。

と、よく言われていることです。

自分の体の現状を知って、
必要があれば対策を打つ。

健康診断の結果で異常が見つかったり、
体の異変に気付いたら、
お医者さんに治療をしてもらう
行動を起こさないと、

治る病気も手遅れになるかもしれません。

既にお解りのように、
家計も手当てをしないと、

歳を取ってから、
破たんすることもあります。

特に、今までと違うように、
家計収支の黒字の額が減少したりと、
家計収支が動いているなら、

繰り返しにはなりますが、
手遅れにならないように善後策を練り
行動すべきでしょう！

健康だと、
自負しているだけでは意味はありません！

*****:

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

*****:

心身も家計も
おかしいと思ったら、

手遅れにならない前に

最善の対応をしましょう！

*****:

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えました。

「人生の添乗員 (R)」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

後悔先に立たず、

あの時にやっておけば、

と後になって思っても、

あとの祭り。

聞きたくない嫌な言葉ですね。

健康第一で、
楽しく、ご自身の描いた人生を
過ごしていきましょう！

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
